

不審者侵入事件発生時の緊急対応訓練

学校法人 南山学園 南山高等・中学校 女子部 校長 深 堀 進
〒466-0833 愛知県名古屋市昭和区隼人町17 Tel (052)831-0704

I 学校の規模及び地域環境

- 1 学校規模 1クラス40名、1学年5クラス
6学年 全校生徒数1,190名 教職員数
専任56名 (生徒は愛知・岐阜・三重
の3県から通学)
- 2 地域環境 閑静な住宅地
- 3 学校施設 現在新校舎建築中のため、既存の校
舎(新館)とプレハブ校舎(仮設校舎)
が100mくらい離れて建っている。

II 取組のポイント

- 1 不審者が再侵入(広範囲に移動した場合)し
たときの対応
(1) 本部が不審者に振り回されないようしっ
かりと状況を把握し、適切に指示を出し伝達する。
(2) 全教員・全事務職員が、不審者の行動を頭
におき臨機応変の対応をとる。

III 取組の概要

1 過去の実施経緯

	2004.7.1.	2004.12.13.	2005.11.25.
方針	すべてお膳立てして実施してみる。	教員・事務職員の みで実施し、臨機 応変の措置をと る。	不審者が広範囲に 移動したときの対 応。臨機応変の措 置をとる。 命令系統の確立
対象	教員・生徒	教員・一部の事務 職員	教員・事務職員・ 生徒
想定	本館4F教室侵入	仮設校舎1F南口 からS2C教室に侵 入	第6限の授業中に 新館に侵入、その 後、仮設校舎に侵 入。
教員の位置	担任はHR、その 他は職員室	担任はHR、その 他は自由	第6限と同じ
役割分担	詳細を災害対策本 部で決定	詳細は各部部长が 決定	詳細は各部部长が その場で決定
避難経路	詳細を災害対策本 部で決定	基本は定められた 避難経路	危険な経路は変更
避難順序	詳細を災害対策本 部で決定	決めず	決めず

2 取組の趣旨やねらい

- ・学校で事件や事故が起こった場合の対応の仕方
(生徒・教員・事務職員の動き、連絡体制、応急
処置の方法など)について、訓練を通して学ぶ。
- ・学校で起こる事件や事故に対して、冷静に対応で
きる心構えを養う。
- ・学校の危機管理に対する意識を高め、維持継続し
ていく。

3 今回の方針

II 取組のポイントと同じ

4 計画概要

- (1) 日時 2005年11月25日(金)
午後2時35分～3時30分
- (2) 場所 南山高等・中学校 女子部
- (3) 対象 全生徒 全教員 全事務職員

5 役割分担

- (1) 授業者 授業をしているクラスの生徒を安
全第一で管理・避難誘導する。
- (2) 授業のない教員・事務職員 副本部長の指
示に従い、緊急対応組織を基に行動する。

6 想定

第6限不審者1名が新館へ侵入し、廊下を徘徊
した後、新館を出て仮設校舎に入り、廊下を徘徊
する。今回は、教室に侵入しない。

7 集合場所・点呼

隼人池公園集合。
点呼は火災・地震時の場合と同じ要領(授業担
当者が点呼をする。)

8 対応

- (1) 仮設校舎で教員が不審者を確保する。(今回
は警察官・パトカーは来ない。)
- (2) 不審者の姿が見える場合はその行動をよく観

察し、見えない場合は放送を聞いて、教室から避難しない方がよいと判断した場合は内側から鍵をかけ待機、教室から避難する方がよいと判断した場合はすぐ校舎の外へ避難する。避難する場合も、状況を判断し、経路を決める。

- (3) 不審者が確保された後、教室に待機していたクラスは隼人池公園に避難する。
- (4) 今回は、6 限終了が訓練の開始で、訓練開始の放送は入れない。

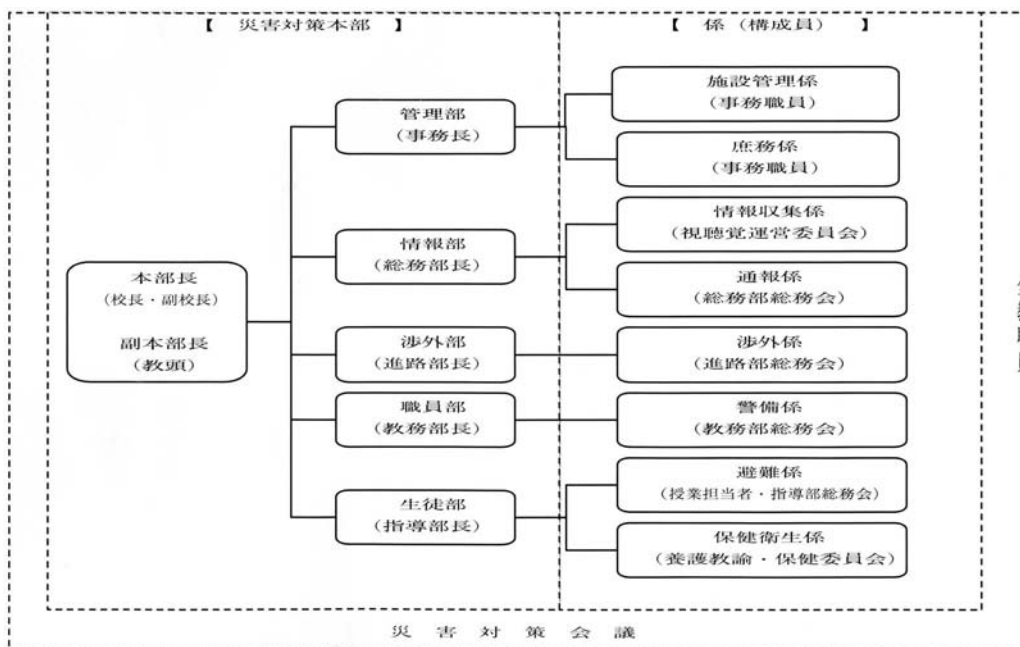
不審者侵入事件発生時の緊急対応組織

【1】	本部	本部は全体の指揮、各係の統括をする。設置場所は、職員室とする。
①	本部組織	災害対策本部をもって本部にあてる。
②	本部会	事件発生後の対策を協議決定するため本部長は適宜本部会を召集する。本部会には必要に応じ係の長が参加する。
③	管理部	学校施設・器具の安全管理、庶務・会計を担当し、施設管理係・庶務係を指揮する。管理部長は 事務長 とする。
④	情報部	確実な情報の収集、校内機関・関係者への連絡・通報を担当し、情報収集係・通報係を指揮する。情報部長は校務分掌の 総務部長 とする。
⑤	渉外部	情報部と連携しながら、外部機関との連絡交渉をし、渉外係を指揮する。渉外部長は校務分掌の 進路部長 とする。
⑥	職員部	警備を担当し、警備係を指揮する。職員部長は校務分掌の 教務部長 とする。
⑦	生徒部	生徒の安全を図り、避難係・保健衛生係を指揮する。生徒部長は校務分掌の 指導部長 とする。

【2】	各係とその役割	
①	施設管理係	重要器具の点検保全にあたる。 事務職員及び火元責任者 を構成員とする。
②	庶務係	記録その他事務処理にあたる。 事務職員 を構成員とする。
③	情報収集係	確実な情報の収集を図る。 視聴覚運営委員会 を構成員とする。
④	通報係	校内における連絡通報及び保護者との連絡交渉にあたる。死者が出た場合保護者に連絡する。 総務部総務会 を構成員とする。
⑤	渉外係	外部機関との連絡交渉にあたる。 進路部総務会 を構成員とする。
⑥	警備係	防犯用具をもち現場に駆けつけ、暴漢の抑止と被害拡大の防止に努める。死者が出た場合の安置。 教務部総務会 を構成員とする。
⑦	避難係	生徒を安全な避難経路と避難場所に誘導する。避難場所での生徒管理。事件発生時の 授業担当者、指導部総務会 があたる。
⑧	保健衛生係	保健衛生、負傷者の対策を担当する。 養護教諭、保健委員会 を構成員とする。

【3】	災害対策会議	本部長は、必要に応じ、全職員が参加する災害対策会議を召集する。
-----	--------	---------------------------------

不審者侵入事件発生時の緊急対応組織図



2005年度 不審者侵入事件発生時の緊急対応訓練

※不審者の動きに対応した職員等の動き

不審者	発見者	授業者	生徒	緊急対応組織								
				本部長	副本部長	渉外部	情報部	職員部	生徒部		管理部	その他の教職員
									保健衛生	避難		
<p>(侵入、移動) ・凶器を保持した不審者が、新館南口から第2体育館・南階段・3階廊下・南階段・4階廊下・南階段・第2体育館を通り、新館南口から外へ出る。</p>	<p>・新館で不審者を見たら、防犯ブザーを鳴らし廊下に投げ出すなどして周りに知らせる。授業をしている時なら教室の内側から施錠し、生徒を落ち着かせ待機する。内線電話で仮設校舎の職員室に連絡する。</p>	<p>・授業中</p>	<p>・教室等で学習中</p>	<p>・職員室に本部を設け、副本部長に状況把握の指示をした後、状況判断し適宜必要な指示を副本部長に出す。</p>	<p>・急報を聞き次第、高3職員控室にいる教員に対応を指示する。副本部長に報告する。 ・緊急避難放送の指示と携帯電話とトランシーバーを持つ。</p>	<p>・部長は事件発生を聞き次第、職員室に急行する。 ・授業のない職員室に急行する。 ・手が空いている部員は職員部長の指示に従う。</p>	<p>・情報収集係長(本部にいないときは部長)は、内線電話等で急報を聞き次第、部長に報告する。部長は副本部長・各部長・事務長に連絡し、副本部長の指示で緊急避難放送「○○先生、△△(異常のある場所)において下さい。」を入れる。 ・授業のない職員室に急行する。 ・部長は必要な箇所に部員を配置する。 ・手が空いている部員は職員部長の指示に従う。</p>	<p>・部長は、事件発生を聞き次第、トランシーバーを持ち、職員室にいる教員に指示し、現場に急行する。ただし、1名は仮設校舎正面玄関、もう1名は仮設校舎南門に監視係として置く。 ・授業のない職員室に急行する。 ・不審者が複数であることも考え、敷地の周りを偵察させる。</p>	<p>・養護教諭は事件発生を聞き次第、現場に急行し応急手当をする。 ・授業のない係の教員は、現場に急行し、養護教諭の指示に従う。</p>	<p>・部長は、事件発生を聞き次第、授業のない係の教員とともに現場に急行する。</p>	<p>・部長は事件発生を聞き次第、職員室に急行する。</p>	<p>・事件発生を聞き次第、職員室に急行し、職員部長の指示に従う。</p>
<p>・授業ではない時は、駆けつけたもに不審者を探す。不審者を発見したら不審者の行動を制限する。</p>	<p>・新館の授業者は、異常に気づいたり、緊急避難放送が入ったら、廊下を見て、不審者がいなければ、避難経路を決定の上、避難を生徒に指示し(場合によっては加勢)、1列で準入池公園まで誘導、点呼し、生徒部長に報告した後、自分の業務に就く。不審者がいれば、教室を内側から施錠し、生徒を落ち着かせ待機する。 ・仮設校舎の授業者は、教室を内側から施錠し、生徒を落ち着かせ待機する。</p>	<p>・新館の生徒は、授業者の指示に従い待機または準入池公園に避難する。 ・仮設校舎の生徒は、待機。</p>	<p>・警察への通報指示 ・救急車の要請指示 ・保護者からの電話の対応の指示 ・報道関係の対応の指示</p>	<p>・副本部長の指示で部長は、警察へ連絡させる(今回は学校事務室へ)。また、部長は、消防署へ救急車出動要請の連絡をさせる(今回は学校事務室へ)。</p>	<p>・情報収集係長(本部にいないときは部長)はトランシーバー、内線電話、口頭での情報を収集し、部長に報告する。 ・部長は副本部長に報告する。</p>	<p>・授業のない部員は、直ちにさすまた等の防具を持ち、現場に急行し、暴力の抑止と被害拡大の防止に努める。 ・偵察を終えた教員は情報収集係長(本部にいないときは部長)に報告する。</p>	<p>・養護教諭は負傷者を把握し、情報収集係長にトランシーバーで報告する。</p>	<p>・避難係員は、部長の指示に従い、生徒を安全な経路に誘導し、準入池公園に避難させる。 ・避難係員は、避難誘導している時に負傷者を見つけたら応急処置を行う。</p>	<p>・保護者からの電話の対応(今回はなし) ・報道関係の対応(今回はなし)</p>			

不審者	発見者	授業者	生徒	緊急対応組織									
				本部長	副本部長	渉外部	情報部	職員部	生徒部		管理部	その他の教職員	
									保健衛生	避難			
		・新館の授業担当者は避難途中での負傷者を見つけたら引率の生徒に避難継続指示し、応急処置をする。	・準人池公園へ避難した新館の生徒は、1列縦隊に並び静かに待機する。			・部長は保健衛生係からの搬送計画を見て、教急車の誘導と搬送を手伝わせる。				・養護教諭は、負傷者の搬送計画を考え副本部長に報告する。	・部長は、準人池公園で生徒の管理をする。 ①点呼を集約する。 ②行方不明の生徒を情報収集係長に連絡し、捜索する。 ③負傷した生徒を保健衛生係へ渡す。 ・部長は、携帯電話で点呼状況を情報部長に報告する。		
(職員等との接触) ・不審者は、仮設校舎南門で監視係の教員に軽傷を負わせ、新館連絡階段から外南階段を上り、仮設校舎に侵入する。仮設校舎2階の廊下を西へ凶器を振り回しながら進む。	・仮設校舎で不審者を見たら、防犯ブザーを鳴らし廊下に投げ、大声を出して周りに知らせる。 ・内線電話で職員室に連絡する。生徒を落ち着かせる。		・新館に残っているクラスの生徒は、授業者の指示に従い準人池公園に避難する。	・急報を聞き、本部長に報告する。 ・緊急避難放送の指示		・情報収集係長(本部にいないときは部長)は、内線電話等で急報を聞き次第、部長に報告する。 ・部長は副本部長に報告し、緊急避難放送「〇〇先生、次に△△△(異常のある場所)において下さい。」を入れる。	・部長は仮設校舎に引き返す。 ・部長は、新館南口と北口に監視係の教員を置く。	・新館での負傷者がいないまたは負傷者の処置が終わったら仮設校舎に引き返す。			・職員部長(いないときは副本部長)の指示に従う。		
・駆けつけた教員とともに不審者をさすまた・椅子などで制限し、生徒を守る。	・仮設校舎の授業者は、緊急避難放送を聞き、廊下を見て、不審者がいなければ、避難経路を決定の上、避難を生徒に指示し(場合によっては加勢)、1列で準人池公園まで誘導、点呼し、生徒部長に報告した後、自分の業務に就く。不審者がいれば、教室を内側から施錠し、生徒を落ち着かせ待機する。	・仮設校舎の生徒は、授業者の指示に従い待機または準人池公園に避難する。	・職員部長がいなければ、職員室にいる教員に指示し、さすまた等の防具を持って現場へ急行させる。副本部長も現場に急行する。	・部長は現場に急行する。	・情報収集係長(本部にいないときは部長)はトランシーバー、内線電話、口頭での情報を収集し、部長に報告する。 ・部長はトランシーバーまたは携帯電話で副本部長に報告する。	・養護教諭は負傷者の応急手当をする。 ・養護教諭は把握し、情報収集係長にトランシーバーで報告する。	・授業のない係員は、生徒を安全な経路に誘導し、準人池公園に避難させる。 ・避難誘導している時に、負傷者を見つけたら応急手当を行う。						

不審者	発見者	授業者	生徒	緊急対応組織							管理部門	その他の教職員
				本部長	副本部長	渉外部	情報部	職員部	生徒部			
									保健衛生	避難		
(確保) ・不審者は確保される		・仮設校舎の授業担当者は避難途中での負傷者を見つけたら引率の生徒に避難継続指示し、応急処置をする。	・準人池公園へ避難した仮設校舎の生徒は、1列縦隊に並び静かに待機する。			・部長は保健衛生係からの搬送計画を見て、誘導と搬送を手伝わせる。		・職員は防具を持ち、暴力の抑止と被害拡大の防止に努める。できれば、説得する。	・養護教諭は、負傷者の搬送計画を考え副本部長に報告する。	・準人池公園で生徒を管理する。 ①点呼を集約する。 ②行方不明の生徒を情報収集係長に連絡し、搜索する。 ③負傷した生徒を保健衛生係へ渡す。 ・携帯電話で点呼状況を情報部長に報告する。		
					・育友会会長、副会長に応援要請(保護者への対応)指示(今回はなし) ・全校放送を指示			・不審者を確保する(実際の際は警察官)				
			・仮設校舎に残っているクラスの生徒は、授業者の指示に従い準人池公園に避難する。		・負傷者の保護者に緊急連絡指示(今回はなし)		・全校放送「不審者は逮捕されました。」を入れる。 ・部長は携帯電話で不審者が逮捕された旨、生徒部長に連絡する。					
					・全保護者招集の指示(今回はなし)							

2005年度 不審者侵入事件発生時の緊急対応訓練 仮設校舎 避難順序

避難順序															使用階段	避難口	通行門	通行路	集合場所
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15					
S1C S1D	S1A S1B	S1E													△	正南玄関	正門	校舎西側の道路を下り、北側道路の歩道を通って、準人池北回り	準人池公園
S2D S2E	S2A S2B	南書庫	S2C											△	南階段				
J2B														△	外北階段	南口	校舎南側の道路と東側道路を通って、準人池南回り		
J1A S2C	J1B S2B	J1C S2E	J1D S2E	J1E										△	北階段			南階段	
J2C														△	南階段				
J3A 運沢教室1	J3D	J2A	J3B	J2E	J3C									△	外南階段				
保健室 最優先(手空き職員援助)														△		どこでもよい			

(注意) 表記していない室は、近くの階段を利用して、適宜校舎外へ出る。

2005年度 不審者侵入事件発生時の緊急対応訓練 新館 避難順序

避難順序							使用階段	避難口	通行門	通行路	集合場所
1	2	3	4	5	6	7					
							△	新館北階段	新館北門	準人池南回り	準人池公園
チャペル(J3E)	第2視聴室(S3F)	コンピュータ教室(S2)	S3C	S3D	S3E		新館北階段				
	S3A	S3B					△	新館南階段	新館野球場南口		
第2体育館(J2D)							△	新館南口	新館南門		

2005年度 不審者侵入事件発生時の緊急対応訓練 記録

時	分	状況・対応等	備考
14	36	「〇〇先生、新館S3Bへお越し下さい。」という放送が入る。	
		(職員室では、警察・消防に電話をしていた。)	
	39	職員室へ〇〇先生から「仮設校舎2階から侵入された。」という報告がある。	
	40	「〇〇先生、仮設校舎南階段2階へお越し下さい。」という放送が入る。	
	41	トランシーバーで、養護教諭より、「北階段で犯人が取り押さえられた。負傷者なし。」という連絡が入る。	
	42	「不審者逮捕」の放送が入る。	
	44	さすまたを持って現場へ行っていた先生方が職員室へ戻る。	
	46	生徒が戻るまで待機との指示がある。	
15	5	集合場所にて点呼完了との連絡が携帯電話に入る。	
	15	本日の訓練終了の放送が入る。	

臨機応変の措置

<ul style="list-style-type: none"> ・不審者を追跡し、不審者が新館から立ち去ったので、生徒を避難誘導するため3階へ行った。 ・授業がなかったため、職員室にいき、その後、不審者の行動を見て、仮設校舎北階段上部を封鎖して、生徒の避難誘導をした。
<ul style="list-style-type: none"> ・仮設校舎から新校舎南側道路を通り生徒が大量に避難してきたため交通整理をした。 ・隼人池公園からの帰校途中、短大下の交差点で交通整理をした。 ・生徒を避難誘導中、正面玄関の扉を全部全開にした。また、隼人池南西角交差点で生徒を振り分けた。
<ul style="list-style-type: none"> ・1階の教室に生徒が残っていないか確認しながら、最後の生徒達と避難した。 ・正面玄関にて生徒避難誘導後、第1体育館・仮設校舎1階・2階の順に生徒が残っていないか確認した。
<ul style="list-style-type: none"> ・不審者の侵入を聞き、扉に施錠をし、廊下側の生徒を教室中央へ移動させた。 ・不審者の侵入を聞き、扉に施錠をし、生徒を教室中央へ移動させた。 ・不審者の侵入を聞き、扉に施錠をし、生徒を教室の窓際へ移動させた。(3名) ・S1Aの教室で授業中だったので、1階ということを考慮して、窓と扉に施錠させた。 ・新館の教室は内側から施錠できないため、教卓を扉に押し付けバリケードを作って、不審者の教室侵入を防いだ。
<ul style="list-style-type: none"> ・犯人逮捕後、仮設校舎南口にて監視。 ・犯人逮捕後、仮設校舎中1教室前廊下にて監視。 ・犯人逮捕後、仮設校舎2階にて監視。 ・犯人逮捕後、仮設校舎南口にて監視。2階の外南階段へ出る扉を施錠した。
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が新館駐車場非常口から避難した後、不審者再侵入を防止するため扉を施錠した。 ・仮設校舎2階に不審者が侵入したのを聞き、職員室の扉を内側から施錠した。
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を避難誘導中、仮設校舎北階段が使用できないとの現場での指示で外北階段へ回った。
<ul style="list-style-type: none"> ・授業がなかったため、職員室にて指示を受け、長ほうきを持って現場へ行った。(2名) ・S3Bでの授業中に不審者侵入の一報を聞き、隣のS3教員控え室からさすまたを持って不審者を追い払った。

9 反省

教職員に対して事前に記録用紙を配付し、訓練を通じて気づいた点・注意すべき点等について記録してもらった。

(1) 全体

- ・次第に、教職員が状況に応じて行動できるようになってきた。例えば、不審者侵入の放送と同時に、廊下側の生徒を窓側に移動させたり、教室の中央に集めたりした。要所で交通整理、避難誘導、監視をした。ただ、避難途中で不審者と出会ったときのために、教室にあるさすまたを持っていくのを忘れた、という反省もあった。さすまたは、持って避難するのがよい。
- ・不審者役の先生から、さすまたの使い方がよくないと指摘された。
- ・避難のタイミングがわからない。不審者の情報が十分伝わらない。
- ・新館の教室は内側から施錠できない。
- ・生徒に緊張感が見られない面があった。
- ・非常勤の先生にも参加してもらってよかった。

(2) 職員部

- ・第一報の後、手すきの教員の集まりがよく(思った以上に人手があるという印象)、監視係、偵察係に十分な人数を配置できた。また、現場にも5名(男性のみ)派遣することができた。ただし、今回のように犯人が仮設校舎にも来ることを考えると、監視係や偵察係が女性中心になるのは少々危険かもしれない。
- ・再侵入ということで犯人役に2人の先生をあてたが、1人の先生で役割を演じてほしい。仮設校舎から新館(現場)へ急行したが、途中犯人役のA先生・B先生とすれ違った。A先生とすれ違ったときはB先生が犯人、B先生とすれ違ったときはA先生が犯人と想定したが、少々無理があったように思う。できれば犯人役は1人でお願いしたい。
- ・犯人の現在位置がまったく特定できずに苦労した。トランシーバーもあるが、走り回っていたり、新館へ移動しているので役に立たなかったという印象である。「仮設校舎へ犯人が侵入した」という放送があったようだが、外にいると聞こえない。

(3) 渉外部

ア 警察・消防への連絡

- ・細かい内容が伝えられなかった。

- ・けが人がいないと救急車の出動は要請できないのではないかと。

- ・要請行動が早すぎた。

イ 訓練内容等

- ・新館へ入ったのなら仮設校舎を施錠すべきではないか。(侵入を防ぐ。)
- ・職員室は施錠したがまたはずした。(はずさざるを得なかった。)
- ・犯人を校舎内に入れないことを考えるべきである。
- ・正門の前がたいへん混雑した。(教室の中にいれておいた方がよいのではないかと。)
- ・避難経路の確認ということも目的として掲げる必要があった。
- ・さすまたは一人(1本)では、犯人を足止めできない。(すり抜けてしまう。)
- ・階段で折り重なって倒れたら大惨事になる危険性がある。(全ての訓練について言える。)

ウ 生徒関係

- ・教室の窓から外を見ていた生徒がいた。
- ・緊張感がない。不審者を見て大笑いしている生徒もいた。
- ・警察に頼んで生徒への予告なしにやってはどうか。

(4) 情報部

- ・部長以外は、職員部長の指示に従うこととした。問題なし。
- ・職員室内にベーシックなものでよいので、緊急対策の表がほしい。
- ・避難するタイミングが難しい。放送の内容をもっと詳しくしてほしい。今、どのあたりに犯人が移動したかなど。

(5) 生徒部

- ・非常勤の先生にも参加してもらってよかった。
- ・新館に不審者が入ったら仮設校舎の門を閉める。
- ・授業者から担任への生徒の引渡しはどの時点か。
- ・授業がない先生は、生徒部の仕事が状況に応じて臨機応変にできた。(3人)
- ・避難時、教室にさすまたがあれば持って行く。
- ・新館の教室の扉が中から鍵がかかるようにしてほしい。
- ・コンピュータ教室に全体放送が入らなかった。

記録 (各教員の記録を項目分けしたもの)

1	<p>避難のタイミング</p> <ul style="list-style-type: none"> 犯人を捕まえるため仮設校舎廊下を走ったが、各教室、避難のタイミングが分からなかったようであった。 仮設校舎では不審者が通り過ぎただけで避難を開始したクラスや緊張感の足りないクラスもあった。 避難するタイミングが難しい。教室をロックして閉じこもっている方が安全に思われる。 少し避難するのが早かったかも知れない。 ゆっくり待って、北階階段を待つほうがよかった。 不審者らしい騒ぎは、コンピュータ教室北入口まで分からなかった。 窓からセンターコート越しに不審者が2階まで下り、その後戻らないことを確認して生徒を誘導したが、これでよかったのか不安。 不審者がとり押さえられたとの放送の直前、廊下に不審者が見当たらなかったので、「2A、12Bに続いて廊下に出た。安全のためには放送を待つべきだった。」
2	<p>避難の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> S1の生徒が強い避難していたのですぐに避難できず、あれだと後から不審者に追われると逃げられない。 新館南階が詰まっており、もし不審者が戻ってきたら危険だと思った。 廊下を歩いていて気づいて避難することができず、何か乗っている気がした。 正門からの避難クラスが多く、前がつまり走りきれない状態。不審者が仮設校舎南階道路を通り、正門に来た場合どう対処すればいいか悩んだ。 単人池公園まで走っていない。廊下は走って帰った。 一部の教員が走らないと、後戻りしているのをよく見てくることになる。 他のクラスの生徒で避難しており、迅速な行動はとれなかった。 仮設校舎から避難した生徒が新館棟の放送を伝えずに駆け下りるのは危険。
3	<p>教員直連の条件とタイミング</p> <ul style="list-style-type: none"> 主な役割は警察への連絡係。新館侵入直後部長の指示で警察の連絡はできた。住所・校名・侵入場所は正確に伝えられたが、不審者の情報が1人という確認しかできなかった。男女の別、危険物所持等の確認はできなかった。 消防署へ救急車の出動を依頼する際、けが人の人数が把握されていないと、救急車の台数が分からず、人数分の救急車が出動できるかは不明である。 救急車の要請をするのが早すぎて、具体的な内容を伝えられなかった。きちんと状況を把握した上で要請すべきであった。 学年会のため教室2で放送を聞き、職員室に戻った時にはすでに警察や消防に電話がかけられていたので、タイミングが早すぎると感じた。 けが人の状況を把握できない状況での救急車の出動要請は、現実には無理がある。不審者侵入の第一報で警察への連絡はよいが、消防への連絡はその後、状況を確認した方がよい。(二段階で)駆けつけたはずの警察・救急車への対応を何もしなかった。(最後までを想定した役割分担の確認・訓練も今後は必要)
4	<p>生徒の緊張感</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒に鍵を閉めるように指示したら「なぜ閉めるの」との声が聞こえた。意味は説明したが、前もって生徒もこういう場合の行動をおおそイメージでき一般的行動などを示しておいた方がいい。 避難は緊張感がなく悲しくのが多い。 本音が伝わっても生徒に緊張感がないのが気になりました。 一番最初に避難したので、かなり生徒にも余裕があり、緊張感が欠けていた。 生徒に緊張感がなく安全に帰った。 訓練というところが影響してか確認があった。
5	<p>避難誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難の際、複数のクラスが一緒に避難したため、1列でクラスまとまっていた避難誘導が充分にできなかった。 途中、工事中のトラックに長い時間遮断されたが、実際にはほとんど行かせるべきだった。(避難の意味がないような気がした) 廊下で避難クラスの生徒の列が乱れ、一部のクラスと一緒になってしまった。 避難経路がしっかり把握できていなかったため、少し時間がかかった。単人池公園に着いてから翌分間に並べさせた教室で指示しておけばもっとスムーズに整列できたと思う。 避難経路の確認ができていなかったため、生徒が分散してしまった。
6	<p>施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 新館に不審者が入ってからすぐ、仮設校舎の施設をして、入れないという方法も考える必要がある。 教室の鍵をかけてさすまたで厳戒するの、一つかと見えます。 緊急の場合には、仮設校舎では体育館に逃げ鍵を閉めるのが安全かも感じました。 仮設校舎の場合、教室では扉は簡単に破られるような気がするので、教室避難もどうかと感じます。 正門前は混雑し、かえって危険な状態。教室に生徒を残す方がよかった。しかし、遅れて避難場所へ行くための訓練も時間がかかる。

7	<p>情報の伝達</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮設校舎見回りを任せられたが、見回り後、「異常なし」の報告をする間もなく避難が始まっていた。見回りの後の行動を迷った。 不審者取り押さえの連絡が早く、連絡したのが通じなかったので人を使って走らせればよかった。 誰か部屋に不審者の人数を伝えるのを忘れた。 不審者の凶器が教員側に確保されているか、不審者が地面に組み伏せられているかを確認しなかった。 異常が感じられないのに、既に廊下に出ていたクラスがあった。これでは訓練のための訓練。
8	<p>新館の教室の鍵</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータ教室のドアは中から鍵がかららないため、教員が2人いないと前か後ろのどちらから侵入されてしまう。 スムーズに避難できていた。後援室は引き戸なのですが、例えば不審者が外から扉を開けようとしたら、閉止できるかどうか不安だと感じた。 新館S3教室は内側の施設ができず閉った。扉のガラスを防犯用にするなどで壊れにくくするよと思った。 S3教室は施設できない。
9	<p>避難時に持参する物</p> <ul style="list-style-type: none"> さすまたを持って逃げられなかった。 出所簿を持たずに避難してしまった。 生徒誘導の際に、さすまたを持参すべきだった。 教室の扉を閉め忘れた。出所簿をもち忘れた。
10	<p>点呼</p> <ul style="list-style-type: none"> 点呼における早退と欠席の区別は不要ではないかと思う。 知らないクラスの点呼は難しい。 生徒の点呼の意識がなく、点呼が滞った。 点呼時の報告の仕方をもう1度確認しておく。
11	<p>情報の伝達方法</p> <ul style="list-style-type: none"> トランシーバーは、訓練だから持っていると考えていたが、今日の使い方を見ると、どうも実際に事件が起ったときも使用を前提としていたようだ。だとすると、安定した連絡ができるように、新館も含め、受信用のアンテナを各階に設置し、届きにくい所は有線などで、本当に使用できる状態にしなければと思う。さすまたのように教室か廊下に常時設置しておくかなければならない。 放送を入れられない場合も考えるとハンドマイク、メガホン、ベルが各所にあるといい。また、さすまたも全教室にはいい。 いつもトランシーバーが身振になければ連絡できない。
12	<p>不審者役</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回のように、2つに分かれて不審者をやるときは、前の人が後の人に引き継ぐのではなく、別々に行う。 不審者役だったが、さすまたの使い方が下手で、いくらでも反撃できる。 不審者役の迫るの演技に圧倒された。
13	<ul style="list-style-type: none"> S2はクラス単位でなかったこともあり、点呼場所での集合点呼に手間取った。 S2はクラスでまとまっていたためラインをつくるのが、困難だった。 避難していたときは、全員単人池南回りまで逃げていた。とっさの判断ができていない。 単人池角で生徒を振り分けないと、南回りが増える。(混雑していた) とりあえず、S3Aの生徒を守ることを優先したので、さすまたを持って加勢できなかった。 不審者に本当にびっくりしてひるんでしまったので、突然本物が入ってきたら因って身動きがとれなくなってしまうと思った。 教室に生徒を残さないで、不審者を取り押さえるために教室を出ることは出来なかった。
14	<ul style="list-style-type: none"> 不審者発見の報から避難するまで自分が何をすべきか迷いました。 犯人の現在位置が全く分からず、どこへ向かえばいいのかわからなかった。 職員部長に新館連絡階段に配置されたが、軽症という想定だったので、負傷者に入るとは思いませんでした。実際、不審者と接触したら軽症ではすまない。その場合、不審者が仮設校舎に侵入した報告はできない。侵入したという事実が伝わるのは、もっと遅くなると思います。 今回、負傷者ありの想定だったはずですが？
15	<ul style="list-style-type: none"> 犯人を捕らえたとき、また凶器を持っている段階で「犯人を捕らえた。」の放送が入った。 放送の仕方をもっとわかりやすくすればよかった。
16	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
17	<ul style="list-style-type: none"> 全校生徒が指示を聞く態度が非常によかった。 今回の単人池公園の集合場所は、15時からサッカー少年団が使用するので注意。 終ってよかった。緊急時にはどう行動すればいいか授業者も生徒も学ぶことができた。 時計と携帯電源を忘れ、時刻確認が出来なかった。 走っているときすぐ目切れ。犯人逮捕された後にやっと到着。役に立たなかった。 避難行動が以前より速くできるようになった。 交通整理は職員に任せられたがうまくいかなかった。 授業のない教員に指示を出すはずですが、たれも来ない。声もかけない。どなたが授業のない教員だったかわかりません。
18	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
19	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
20	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
21	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
22	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
23	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
24	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
25	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
26	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
27	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
28	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
29	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。
30	<ul style="list-style-type: none"> 訓練後、全員がチャベルに戻らず、自分の教室に勝手に帰った。 学校へ戻る時に車道一杯にはみ出してクラクラ笑いながら歩く生徒に対して、全く注意しない(できない)教員がいた。

10 今後の訓練の課題

(1) 設備

監視カメラや防犯用具(さすまた、催涙スプレーなど)の設置。平成18年度には普通教室すべてにさすまたを置く予定。

(2) 想定

条件をなるべく減らし、訓練実施日時を教員の一部のみが知る実際に近い形を目指したい。

(3) 時間帯

今回の訓練は、ようやく第6限に行くことができるようになった。そのことによって、非常勤教員7人(非常勤28人中、実施日に授業をしていた人数)が参加できた。実際は、どの時間帯に事件が起こるのかわからないので、任意の時間帯での実施をめざしたい。

(4) 外部との連携

警察署・消防署・PTA・男子部との連携も考

えていきたい。

(5) 危機管理意識

全教員(専任・非常勤)・全事務職員が常に緊張感をもち、突発的な事件に対し、生徒の安全を第一に、冷静に状況を判断し対処できるよう普段から呼びかけていく。

機会を作り、繰り返しさすまたなどを使った防犯研修を行う。